

2019年度第3回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2019年7月12日（金）12：58～16：38

会 場：日本代協会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 3名（杉本監事、渡辺監事、吉川監事）

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

会長挨拶骨子

・7/10(水)午後-11(木)午前中までの間、会長就任以来初めてとなる理事合宿打ち合わせを行った。各理事の想いや行動が共有でき、いろいろな気づきが確認できた場だった。この気づきを基に、スピード感と行動力をもって、事業計画推進をお願いする。

・6/14 総会・全国会長懇談会以降の業務報告

1. 7/1(月)東京海上日動社の広瀬社長が来会され、情報交換した。

2. 7/2(火)損保協会の金杉新協会長(あいおいニッセイ同和損保社長)が就任挨拶のため、来会された。日本代協としても連携を深め、「ぼうさい探検隊」の取り組みや「損保トータルプランナー」の育成・輩出を強力に推進する。

また、「cmap.dev」という災害発生時の被災建物予測棟数をリアルタイムに確認できるwebサイトについて、金杉協会長自らが操作方法や活用についてPRされた。

3. 7/10(水)午後～7/11(木)午前まで、理事合宿打ち合わせを実施した。

4. 7/11(木)損保7社・損保協会との懇談会を実施した。当会からの支援要請(仲間づくり推進、トータルプランナー募集勸奨、日本代協アカデミー登録勸奨、代理店賠償責任保険加入勸奨、コンベンション参加、消費者調査結果など)ならびに情報交換を行った。損保ジャパン日本興亜、日新、共栄の3社の部長が新任で初参加された。

各代協における保険会社対応においても、バラツキが出ないよう、連携強化をお願いする。

・業界最新情報の報告のところで詳細説明があると思うが、

1. 「かんぽ生命の保険料の二重払いや無保険状態化などの保険契約乗換での不適切販売」の件は、旧態依然の体質が変えられていないことが最大の原因であり、顧客本位の業務運営に反し、業法300条にも抵触するものではないかと考えている。

2. 関東財務局管内で代理店モニタリングが実施される予定である。2019年10月～12月に約60社(アンケート調査は100社程度)を対象に体制整備状況(主に研修・監査ならびに不祥事件の防止策等)の検証を行う。緊張感を立て直して、自社の状況を指差し確認していく必要がある。

・本日も、闊達な議論と丁寧な審議をお願いする。

〔審議事項〕

1. 表彰者選考会議構成員の委嘱

事務局より、資料に基づいて、以下の通り提案され、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

・対象年度：2018年度分表彰者選考会議構成員については、表彰施行規則第7条の規則どおりに以下の5名が選出された。

小平高義（副会長）、小俣藤夫（理事）、井上浩一（理事）、中島克海（理事組織委員長）、野元敏昭（専務理事）

・会議開催日程：9月12日（木）11：30～12：30を予定

2. 事業計画推進状況

各委員会・PTの事業計画推進に関する審議案件について、各担当理事ならびに事務局から説明、提案があり、審議・採決の結果、3つの審議事項すべて、全会一致で承認された。

【決定したこと】

2019年度の広報PR企画は「千葉テレビ放送(株)」の企画案(オプション実施も含め)を採用し、制作に入る。

コンベンションの基調講演を中央大学法科大学院教授・弁護士の野村修也氏、分科会講師を1.中崎章夫氏、2.櫻井英裕氏、3.岩崎邦彦氏、4.牧野司氏に依頼し、プログラムづくりに入る。損害保険大学課程コンサルティングコースの代協別の受講者募集目標数を前年同数とする。

【主な説明・意見】

2019年度の広報PR企画

- ・広告代理店3社(共同広告社、毎栄、千葉テレビ放送)によるPR企画のプレゼンコンペを6/20実施した。
- ・各社からは、そのノウハウやネットワークを駆使した企画を提案いただいたが、以下の理由から広報委員会としては千葉テレビ放送(独立系局)の企画を推挙することとなった。

<千葉テレビ提案企画概要>

地域親密性と全国組織としての信頼をオリンピック熱とともに、47都道府県をリレーする形式でアンカーにつなぐ動画を制作する。

- ・企画コンセプト：代理店の“地域親密性”と豊かな知識と経験をキーワードに、消費者に身近な相談者(コンサルタント)であることをPRする。
- ・映像コンテンツ：
 - ・47都道府県代協をリレー形式でつなぐ動画「言葉でつなぐ信頼のリレー」を制作する。全国行脚を証明する「ふうたくん」の旗にリレーメッセージを記入していく。
 - ・基礎的保険用語の解説による保険情報啓発に加え、ストーリー連続性もある内容で制作。「基礎講座の用語集」を活用して、ネット検索の多い保険の主要用語の解説を1代協1つずつ収録する。(1代協当たり3~5分で番組制作する)
 - ・ブロック別の16名的女子アナウンサーがサポーターとして代協をPRする。

なお、映像撮影は、地区ブロック単位で撮影クルー(業者)が訪問し収録・編集する。ブロック単位での収録を行いたく、ブロック単位で出演者都合を確認のうえ、日程調整する。

・WEB情宣・オプション：

- ・SNSによる拡散プロモーション、動画制作配信講習をサポート(代協の魅力を伝える動画制作にもつながる)
- ・TV番組によるプロモーション、二次利用可能

<選定理由等>

- ・昨年に続き47代協をPRできるという利点がある。
- ・47代協をリレーすることで一体感が醸成でき、制作過程の連携で代協の組織の活性化が期待できる。
- ・前年の実績があり、信頼性はある。プレゼン力が高く、資料もしっかりしている。
- ・日本代協YouTubeチャンネルの登録増に繋がる。
- ・シナリオの見直しが必要と考えるが、コンセプトがぶれない気がする。
- ・二次利用を最大限活用できる。

- ・オプション番組の構成を「代協の魅力発信」へ変更できるとベストである。
- ・他社提案の「サンドアートの斬新性」や「災害対応のドキュメンタリーの有益性」も B I D の論点となったが、千葉テレビ提案の支持が多かった。

〔席上配付資料〕審 2.-1 2019 年度損害保険トータルプランナー等の PR 企画案（席上配付資料 P.1-2）

〔席上配付資料〕ショートムービー制作・運営コンセプト・千葉テレビ提案書 P.1-3

コンベンション開催案

- ・テーマを『時代の変化に対応し、持続可能な代理店経営を考える』と仮置きし、P T メンバーで協議し、プログラムを作りこんでいく。人口減少という大きな社会基盤の変化の中で、I T や A I が加速度的に進展して社会を変えていく激動の時代だからこそ、改めて自らの事業のあり方を見つめ直し、組織として真の顧客本位の業務運営を実践し、持続的に成長していくための学びの場としたい。
- ・基調講演：中央大学法科大学院教授 野村修也氏、分科会：中崎章夫氏（日本代協アドバイザー）、櫻井英裕氏（北海道代協会員㈱リプラス代表取締役）、岩崎邦彦氏（日本代協アドバイザー・静岡県立大学教授）、牧野司氏（Makino's Lab 主宰・東京大学大学院非常勤講師）として構成する予定である。
- ・すべての分科会を見たいという会員の声があり、了承が得られる講師分に関しては、録画して開示する予定である。
- ・懇親会の中でのご当地 P R については、原則、ブロックごとの抽選持ち回り方式で、今回は九州北ブロックが担当する予定である。
- ・懇親会の来賓あいさつ時の私語ざわつきを抑制する対策をしっかりと検討する。

〔席上配付資料〕審 2.-2 第 9 回日本代協コンベンション開催案（P.席上配付資料 3）

損害保険大学課程コンサルティングコースの代協別の受講者募集目標数

- ・2018 年度募集においては、会員率 100% の代協もあるが、47 の全都道府県代協が余裕をもって目標達成しており、目標数は前年度と同様とする。
- ・昨年は、AIG 社の手数料体系改定による後押しがあり、代理店内の認定者実数や認定割合を認定制度上で評価することを打ち出してくれた損保ジャパン日本興亜社とともに牽引いただいた。

〔資料 審 2.〕3.損害保険大学課程コンサルティングコース受講者募集に関する代協別目標数案（P.1）

〔報告事項〕

1. 各理事からの報告

（1）地域担当理事からの報告

事前提出され、書庫に登載されている事業計画アクションシートへの記載事項以外に以下のコメントがあり、共有された。

- ・北海道では 7/20 に日本代協アカデミーの ID 登録会を実施する。
- ・損保協会の各支部や損保会と協調した活動をするを強く意識して、各種行事のスケジュール調整や企画運営に関与している。ペーパーレス化も推進している。
- ・東海・北陸ミニコンベンションの開催（10/18-19）を決定した。財務局との連携をさらに密に行う。サイバーセキュリティ対策についてもセミナーの企画・開催を強力に依頼している。

- ・三冠王などの連覇の苦勞話を共有し、刺激を分かち合い、取り組みの士気を高めている。顧客本位の業務運営に関するセミナー（野元専務、岩崎教授他）は300名枠に対し、早くも270名の申込みが届いている。大阪TPの会も継続開催している。
- ・真備地区で被災した代理店も入り、セミナー、パネルディスカッションを開催し、リスクコントロール・リスクファイナンスの具体的な方法を改めて確認し合った。
- ・『「人」と「組織運営」』が重要である。各代協の伝統を尊重しながら、組織運営の方法に関する提案をしていきたい。また、組織が活性化する人選に尽力する。「各代協会長の会」を開催し、また「委員会のクロスワーキングシート」を活用した横断しを実践する。（九州）
〔地区別委員会別資料〕各ブロック別事業計画アクションシート（地区別委員会別資料P.1-25）

（２）委員会担当理事からの報告

企画環境委員会

木下委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

・募集実態のモニタリングと具体的対応の実施

報告いただいた事案は、委員会で共有するとともに、データベース化してホームページの「会員の広場」に掲載している。最近報告事案が減少していることが気掛かりである。

・代理店賠償の推進と募集上の留意点の情宣

代理店賠償PPT（ナレーション入り、約15分）が完成した。日本代協ホームページにも掲載した。代理店賠償事故案件をみると、保険会社社員の業法第283条の使用者責任に関する理解が十分でない事例が見受けられるため、制度の周知と合わせ、工夫が必要である。

・共通化・標準化の推進

業界全体の効率化ならびに消費者の利便性の向上につながる事案を広く収集し、損保協会はじめ関連各所に提言を行う。

・チャネル競争力強化策、消費者・契約者に代理店の価値を伝える施策の検討、提示

代理店の将来展望を見据え、リスクを中心としたバリューチェーンの構築を検討する。JCMの「下取りよりも買取」、M&ACDN制度、地域の専門家ネットワークづくりなどワンストップショッピング化につながる施策を検討する。

〔地区別委員会別資料〕企画環境委員会報告シート（地区別委員会別資料P.26）

教育委員会

石川委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

・日本代協アカデミーの展開

イ.7/12（金）現在、登録ID数は漸く2,007人となったが、地域差、代協差が顕著になってきた。6/13理事会で決議され、6/14全国会長懇談会にて各会長の要請した「各代協会長が主体となった日本代協アカデミーのID登録会の実施」、ならびに「各ブロック協議会での日本代協アカデミーに関する会員の声の収集」および「好取組事例を実践して

いる会員の取材候補推薦」を改めてお願いする。

ロ. 仕組み構築に関する会員の声から、以下のシステム改定が実現する。

- ・クレカ払い以外の支払方法として原則 10 名以上の代理店には請求書払対応をする
- ・メールアドレスを持たない募集人も想定外に多く、募集人 ID による登録も可とする
- ・登録等の電話ヘルプデスクの設置（日企社内に 4 回線設置済）
- ・10 月以降の本格展開後の新登録者に関しては、登録日から 30 日間の無料期間設置
- ・フォロー役でもある各都道府県代協事務局への ID 配付を行う（7 月中の予定）

ハ.7 社懇談会の場で、日本代協アカデミーの履修状況に関する情報の保険会社連携について、保険会社側から前向きな検討要請があった。（受講者・代理店の同意のもと、履修状況の連携ができると推奨しやすくなるという理由から）

・ 損害保険大学課程の運営・検証・改善

2019 年度も 7 月からコンサルティングコースセミナーが始まった。各地でのセミナー運営の支援をお願いする。

・ ベストプラクティス事例の収集と展開（代理店の収益向上・体制整備強化に資する好取組事例の収集と展開）

取材候補先の選定に関しては、都道府県代協の推薦だけでなく、web アンケートも実施する。代協の組織運営や活性化の好取組事例に関しては、組織委員会から推薦をいただき、情報提供コンテンツで紹介する。

〔地区別委員会別資料〕教育委員会報告シート（地区別委員会別資料 P.27）

〔席上配付資料〕好取組事例の収集と情報共有のための Web アンケート（席上配付資料 P.4-8）

組織委員会

中島委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

・ 情報と熱が伝わる組織づくりの推進

組織委員の本来の仕事は狭義の会員増強ではなく、各代協経営を安定的かつ積極的に行うために情報と熱を伝え、組織の活性化を図ることである。委員や各代協役員の意識改革が必要と感じている。

「組織委員会だより」を組織委員会開催の都度、配信する。

・ 各代協ならびに各会員の H P の活用推進（広報委員会と連携）

情報と熱を伝えるために H P を活用する。各種行事・セミナー企画、案内等の情報をしっかり掲載できるようチェックを始める。（8 月末までに確認し、10 月委員会で対応策検討）

・ 仲間づくり推進

年間スケジュールに基づき、早め早めにイベント計画・動員計画を立案・共有し、効果的な仲間づくり推進を行う。今年度の表彰基準である「入会目標」だけでなく、各代協が安定的かつ積極的な運営をするために必要な会員数（現在の会費体系に基づく）を再確認してもらうことが重要である。（参照：2019 年度事業計画の「組織力の強化」の記載内容）

なお、前年度に実施した「入会キャンペーン」も前回委員会論議では、今年度も何らかの形で実施したいとの意見が多かった。内容を詰めて次回理事会に提案する。

〔席上配付資料〕組織委員会報告シート（席上配付資料 P.11）

CSR委員会

小田島委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

. ぼうさい探検隊の積極推進

「ぼうさい探検隊」は、7/4 現在 48 マップが提出済である。3冠のうちの1冠をぼうさい探検隊マップ提出で達成が見えた代協も出てきた。夏休み前の今が一番の勝負の時なので、改めて推進の声掛けをお願いする。

. 中小企業のサイバーセキュリティ対策の啓発活動の実施

「なぜ、今、サイバーセキュリティ対策が必要か」という背景、意味合いを委員会で共有した。パソコンを乗っ取られた被害者であったはずの中小企業が、最低限の対策を講じてこなかったとして加害者と認定された地裁判決が出ている。ラグビーの世界大会や東京オリンピックを控え、セキュリティの緩い中小企業のパソコンにサイバー攻撃を仕掛け、乗っ取り、取引のある大企業等に侵入しようとする犯罪者が群れていることが想定されている。委員会としても、各代協のセミナーの実施状況を確認する。

〔地区別委員会別資料〕CSR委員会報告シート（地区別委員会別資料P.28）

広報委員会

野原委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。（PR企画に関しては、審議事項で決議済）

【主な内容】

. 日本代協ホームページの抜本的改定の検討

V-Hope社と連携し、策定中である。動画制作、コンテンツの確認、デザインの決定を済ませ、2019年11月コンベンションでのリリースを目指して取り組んでいる。

. 代協の魅力を伝える動画の制作

PR企画で採用する千葉テレビの協力のもと、動画を制作する。YouTubeはもちろん、ホームページや日本代協アカデミーの情報提供コンテンツにも掲載する予定である。

新日本保険新聞の連載企画においても、代協の魅力を伝えていく。

. 「みなさまの保険情報」の活用推進

現状の購入率は4.4%と低迷している。購入率5%達成のためには、具体的な推進方法を早急に検討し、実践する必要がある。お客様との接点を継続的に持つために「みなさまの保険情報」を活用するという好取組事例等を情宣する必要がある。また、各ブロックや各代協の会議の際に現物を配付してPRする、ネームドで未購入会員に購入を働きかけるなどの綿密な計画と実践が必要である。

〔地区別委員会別資料〕広報委員会報告シート（地区別委員会別資料P.29）

ビジョン委員会

高橋委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

. 各会員資格と会費モデルの提供

昨年度の各代協の収支をみると47代協中17代協が赤字であった。1会員当たりの収入は

平均で 45,400 円（最小 25,900 円～最大 90,000 円とバラツキあり）であるが、収益事業からの収入の比重が大きい代協もある。会費による運営が本来の姿であることを再確認いただくため、会費モデルは数パターンを提供する予定である。

また、会員資格については、別個登録、他代協の正会員の募集人、勤務型代理店に関して一般社団法人運営マニュアルに明記する。

・大規模災害時の鑑定補助制度創設に向けた検討

お客様の自己申告をサポートしている「損害保険募集人による一部損事案の損害調査サポート」における代理店のサポート範囲の拡大を働きかける。大半損・小半損の請求サポートも認めるよう損保協会に働きかける。

・代理店の体質強化に向けた支援策の検討・提供

代理店経営サポートデスクを設置し、粕谷智氏が相談室長に就任した。毎週水曜 10 時から 16 時まで電話による経営相談を受け付け始めたが、すでに 4 件の相談が入り、対応している。ツール・帳票の作り込みでは、1) 小規模代理店向け BCP 策定ツール「みんなで作る BCP」の提供（チェックリスト、社員論議シート、BCP 策定シート、解説書）2) 「代理店の戦略的事業承継支援策」(事前調査用各種資料の提供)から着手し、順次拡大する。

〔地区別委員会別資料〕ビジョン委員会報告シート（地区別委員会別資料 P.30）

〔席上配布資料〕代理店経営サポートデスクの設置と業務内容（席上配付資料 P.9-10）

2. 前回理事会（2019.6.13 開催）以降の主な業務報告

（1）「仲間づくり推進」6 月末状況のご報告

【主な内容】

- ・2019 年度は、6 月累計で入会 102 店、退会 279 店、合計 177 店（前年度は入会 88 店、退会 237 店で合計 149 店）累計で 11,968 店となった。
- ・代申会社別では、東海日動 58 店、損保ジャパン日本興亜 56 店、三井住友▲21 店、あいおい 16 店、AIG 12 店など全社で減少となった。
- ・代協別では鳥取、奈良、大阪が入会基準目標を突破し、1 冠を達成した。一方で入会が「0」の代協が 15 代協ある。
- ・専業換算組織率では、全体では 44.9%、京都 78.1%、高知 76.3%、香川 74.3%と 70%を超えている。

〔資料 報 1.〕2019 年度 仲間づくり推進 6 月末状況（1.代協別、2.代申別）(P.2-3)

（2）日本代協アカデミーの展開

【主な内容】

- ・7/8 時点の ID 登録状況は、961 店・1,969 ID である。100 ID を超えた代協も 4 代協あるが、20 ID 未満の代協も 12 代協ある。6 月 13 日開催の第 2 回理事会で決議された「各代協における ID 登録会」の開催（原則、7 月末までに）を展開いただきたい。開催状況の確認に関する要回答通達を改めて配信する。

〔席上配付資料〕10.日本代協アカデミー利用者登録数 0708 時点（席上配付資料 P.30）

〔資料 報 2.〕2.日本代協アカデミーコンテンツリスト（P.5）

（3）損害保険トータルプランナー認定状況等

【主な内容】

- ・損害保険トータルプランナーの7月1日時点の認定有効者数は13,362名と前月から1,039名の増加となった。
- ・大手生保社の代理店手数料体系の基本的な考え方における品質ランクで、FP資格や士業資格などの専門資格保有割合のラインを設定し始めている。損保トータルプランナーの認定者割合についても、各損保社に採用してもらえるよう働きかける。先行している損保ジャパン日本興亜社には、レベルアップの検討を依頼する。

〔資料 報3.〕 損害保険大学課程各コースの認定状況等 (P.6-7)

(4) 代理店賠償「日本代協新プラン」の更新対応

【主な内容】

- ・募集ツールの配信：2019年8月9日(金)一斉発送予定
- ・募集締切日：2019年9月4日(水)
- ・補償内容の変更なし、保険料に関しても割引・割増の制度を含めて変更なし。

〔資料 報4.〕 2019年度「日本代協新プラン」パンフレット等見本 (P.8-11)

(5) 第38次PIAS実施報告

6月7日(金)第38次PIAS団が無事帰国した。7/26(金)に帰国報告会を開催する予定である。通訳問題の解決が次年度以降の課題である。

(6) 損保7社・損保協会との懇談会実施報告

【主な内容】

- ・損保7社・損保協会との懇談会：7/11(木)16:00~17:30に開催、当会から、仲間づくり推進、代理店賠償、損害保険大学課程、日本代協アカデミー、コンベンション等の主要取組について各社へ要請を行った後、各社から取組状況報告があり、その後、意見交換を行った。
- ・保険会社側の出席者は、リテール営業推進の責任者であり、基本的なベクトルは本会と同じであるため、垣根のない議論ができ、認識の共有ができた。

〔資料 報6.〕 損保7社・損保協会懇談会の開催案内 (P.12-13)

(7) 業界紙懇談会実施予定(7/19[金]16時~日本代協会議室)

〔資料 報7.〕 業界紙懇談会の開催案内 (P.14)

(8) 2019年度第1回「活力研」の開催概要(7/24[水]15時~日本代協会議室)

意見交換のテーマとして以下の内容を事前送付している。

テーマ：「今後の代理店経営を考える」

日本代協が現在代理店や保険会社社員向けに発信している掲題テーマの資料の記載内容をもとにした意見交換を行う予定。

特に、第2章「ITの進化と市場環境の変化」、第3章「今後の代理店経営を考える」を中心に論議する。

〔資料 報8.〕 2019年度第1回「活力研」開催案内 (P.15-16)

(9) 代理店経営サポートデスクの設置

【主な内容】

- ・本年度施策として日本代協事務局内に『代理店経営サポートデスク』を設置した。
- ・日本代協アドバイザーの粕谷 智氏に相談室長に就任してもらい、代理店経営を支援するため

- の各種支援策の企画開発、ならびにツール・帳票等の作りこみを行う
- ・毎週水曜日（10時～16時）は電話による「代理店経営相談コーナー」を設ける。
- ・支援策の内容、相談内容の分析結果等は、ビジョン委員会で審議の上、理事会に報告する。
代理店経営相談コーナー 直通電話：03-6268-0788（毎週水曜日 10時～16時）
同 専用メール：agsupport@nihondaikyo.or.jp（随時）

〔資料 報9.〕2.0701 新日本記事 代理店経営サポートデスク（P.19）

〔席上配付資料〕4.代理店経営サポートデスクの設置（席上配付資料P.9-10）

3. 情報提供

（1）業界動向最新情報

【主な内容】

- ・あいおい、横浜国大、エーオンの3社は、災害発生時の被災建物数を市区町村ごとにリアルタイムで公開する世界初のウェブサイト「cmap.dev（シーマップ）」を開設し、広く提供している。パソコン、タブレット、スマホ等で cmap.dev と入力して無料で利用できる。概要は以下の通り、
 - ・同サイトは、被災規模の早期把握や迅速な救助活動の支援を目的として開設。
 - ・平時においても主な台風・地震を用いたシミュレーションや世界中の気象状況をリアルタイムで確認することができる。
 - ・URLは <https://cmap.dev/#6/38.247/138.032>（リンク先）または、「cmap被害」「cmap.dev」で検索、パソコン、スマホ、タブレットなどすべてのデバイスで誰でも見ることができる。（無料）
 台風や雲、降水など、様々な気象情報をリアルタイムで表示できるので、お客様面談時に画面を提示して情報共有を図る等、防災・減災に関し、様々な活用も可能。上記リンク先を確認いただきたい。なお、気象予報データは使用していない。
- ・かんぼ生命の不適切販売が相次いで発覚し、いまだ全容が解明されていない。保険料の二重払いや無保険状態化などの保険契約乗換での不適切販売は、当初は意向確認を取り付けており、問題ないと説明してきたが、相次ぐ内部告発により一転不適切販売と認めた。旧態依然の経営体質が変えられていないことが最大の原因であり、顧客本位の業務運営に反し、業法300条にも抵触するものではないかと考えている。

現時点で、乗換後の健康状態により解除となり支払謝絶等となる事例も判明し、個別対応で乗換前の契約の復元・保険金支払い等の対応を実施しているとのことである。

また、一部の郵便局員が保険契約時に支給される手当金や営業実績を増やす目的で「乗り換え潜脱（せんだつ）」と呼ばれる不正行為を繰り返している実態も明らかになった。乗り換え潜脱の手口には、新規契約の7カ月後に旧保険を解約させる「乗換（後7）」と、新規契約の4カ月以上前に旧保険を解約させる「同（前4）」があり、いずれも契約を結んだ局員は、満額の手当金を受け取ることができたという。これにより保険料の二重払いや無保険状態化が引き起こされた。
- ・損保ジャパンが2020年度末までに4000人を削減することが判明した。定年退職による自然減や新規採用数の抑制、ホールディング傘下の生保、介護、サイバーセキュリティ事業に振り向けられる。また、定型業務を自動化するシステム導入やAIの普及加速で業務効率化を急ぐこととなる。代理店の自立化は急務である。
- ・改正保険業法施行から丸3年が経過した。金融庁・財務局も体制を整えており、関東財務局においては、代理店モニタリングの展開がいよいよ始まる。

実施時期：2019年10月～12月（予定）

実施概要：対象とする代理店に対して、事前に質問票を出し、アンケート調査を実施
アンケート調査の回答を基に、当局が選定した代理店に出向き対話を実践、
体制整備状況（主に研修・監査並びに不祥事件を防止する策等）の検証を行う

実施主体：関東財務局金融監督第4課（生保募集、損保募集 計4名）
関東財務局理財部検査官

実施対象先：関東財務局管内1都9県所在の保険代理店 約60社（アンケート調査先は約
100社程度を想定）

対話内容：保険募集人（保険代理店）に求められる業法294条の3に対する対応状況等
（主に、体制整備の実効性を調査するため、監査（内部・外部）教育を重点に
聴取を予定。PDCAのうちのDCを確認する。）

- ・ あいおい社が保険料のスマホ決済サービス（新たな保険料支払方法）の案内を始めた。顧客の
利便性が向上する面はあるが、取り扱う代理店の負担する決済手数料はクレカの加盟店手数料
より高額である。今後詳細

説明が始まるようだが、お客さまが望む決済方法を代理店が拒むことは結果、顧客本位に反す
ることになるとも考えられ、困惑するものである。ITは共通化・標準化が前提であり、業界
ベースで進むことが望ましく、今回の発表は代理店として当惑する内容である。

また、デジタルを活用することでコストが下がることにならなければ意味はない。さらには、
お客さま、代理店、保険会社の3者にとって納得感のあるものでないと普及はしていかないと
考えるので、この点、あいおい本社に確認する。

〔席上配付資料〕6.-1 新潟・山形地震 屋根修理や保険勧誘の不審業者出没（席上配付資料P.12）

〔席上配付資料〕6.-2-1 c m a p被災建物予測棟数リアルタイム公開（席上配付資料P.13-14）

〔席上配付資料〕6.-2-2 c m a p解説（席上配付資料P.15-19）

〔席上配付資料〕6.-3NHKニュース防災アプリ（席上配付資料P.20-21）

〔席上配付資料〕4.-1 日経電子版記事 かんぼ生命乗換不適正（席上配付資料P.13）

〔席上配付資料〕4.-20704 保毎記事 かんぼ生命乗換不適正（席上配付資料P.14）

〔資料 報9.〕1.0626 保毎記事 日本代協総会（P.17-18）

〔資料 報9.〕3.東京新聞記事 損保ジャパン日本興亜 人員削減（P.20）

〔資料 報9.〕4.2018年度損保決算概況について（P.21-22）

〔資料 報9.〕5.損保労連広報紙掲載記事：5/9日本代協との懇談会概要（P.23）

〔資料 報9.〕6.ふうたのワンポイントレッスン part4vol13.（P.24）

〔席上配付資料〕保険料スマホ決済サービス（あいおいニッセイ同和損保）（席上配付資料）

〔席上配付資料〕保険代理店との「対話」の新たな在り方について（席上配付資料）

（2）損保協会新体制ならびに協会長ステートメント（6/28）

【主な内容】

- ・ 新会長（金杉恭三 あいおいニッセイ同和損保社長）はじめ新役員の略歴が紹介された。

なお、金杉協会長は就任早々の7月2日（火）10時30分に来会され、金子会長と懇談され
た。新協会長ステートメントでは「ぼうさい探検隊」「損害保険大学課程」の2か所で“日本
代協との連携”と記載いただいた。

会 長 金杉 恭三（あいおいニッセイ同和損保社長） 新任

副会長 広瀬 伸一（東京海上日動社長） 新任

副会長 Kenneth Reilly（AIG 損保社長） 新任

副会長 牧野 治郎

専務理事/岩崎 賢二 常務理事/伊東 祐次 常務理事/坂本 仁一 新任

- ・金融庁の人事では、遠藤俊英長官、栗田照久監督局長、横尾保険課長は留任。元保険課長現総合政策局審議官の白川俊介氏が総括審議官となった。窓口であった中里専門官が異動された。

〔資料 報 10.〕 1. 損保協会新体制(P.25-26)

2. 日本損害保険協会 西澤協会長のステートメント(2019.06.13)(P.27-31)

3. 日本損害保険協会 金杉協会長のステートメント(2019.06.28)(P.32-37)

(3) R I N Gの会オープンセミナー参加報告(7/6[土]10時~17時 パシフィコ横浜)

R I N Gの会オープンセミナーの参加報告を事務局でまとめ提供するので、参加できなかった会員等に情報提供いただきたい。

〔資料 報 11.〕 第21回『R I N Gの会』オープンセミナー報告書(近日中に配信)

4. その他

保険毎日新聞で、各代協の総会報告記事が継続掲載されたので、参考までに記事を添付する。業界紙や地元地方紙などと連携を密接にし、代協活動の記事掲載を進めてほしい。JCMの6月末実績も資料を添付する。

〔資料 報 12.〕 1.0612 保毎記事 兵庫県代協総会(P.28)

2.0613 保毎記事 長野県代協総会(P.29)

3.0614 保毎記事 愛知県代協総会(P.30)

4.0617 保毎記事 千葉県代協総会(P.31)

5.0619 保毎記事 京都代協総会(P.32)

3.0621 保毎記事 滋賀県代協総会(P.33)

4.0624 保毎記事 広島県代協総会(P.34)

〔席上配付資料〕 5.-1 JCM6月買取車両上位10台・6月末実績(席上配付資料P.15-17)

〔監事講評〕

渡辺監事から以下の通り監事講評があった。

- ・7/10-11の理事合宿打ち合わせに続き、本日の理事会での熱心な討議に感謝申し上げます。

審議事項に関しても論議を重ね、適切に議事運営されたものと判断する。

広報のPR企画案やコンベンション企画案も大変興味深いものになってきた。

- ・6/14の会長懇談会の分散会にも参加したが、三冠王の仕組みの改定により、規模の小さな代協においても、今回は自分の代協も獲得が狙えると前向きな気持ちになっている会長を多数見た。コミュニケーション

を密にして盛り上げていただきたい。

- ・井上理事提案の「ブロック内の各会長会」の開催や「委員会のクロスワーキングシート」を活用した組織活性化策は大いに期待できる。

以上

< 諸会議開催予定 >

2019年07月～2020年06月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2019年度	7月10日(水)	13:30～18:00	理事合宿	日本代協 会議室
	7月11日(木)	9:30～12:00	理事合宿	日本代協 会議室 会場 未定
		14:30～15:30	(7社懇 事前打合せ)	
		16:00～17:30	損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長)	
		17:45～20:00	懇親会	
	7月12日(金)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室
		13:00～17:00	第3回理事会 テーマ:通常課題	
		17:00～18:30	セミナー:テクノロジーの最新動向と保険ビジネスの未来	
	7月19日(金)	15:30～17:30	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長)	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定
		17:45～20:00	懇親会	
	7月24日(水)	15:00～17:30	活力研(正副会長、企画環境・ビジョン委員長)	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定
		17:45～20:00	懇親会	
	9月12日(木)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室
		13:00～17:00	第4回理事会 テーマ:通常議題	
	9月13日(金)	11:00～17:00	第1回ブロック長懇談会	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F 食堂
		17:00～18:10	特別セミナー	
		18:20～19:30	同上懇親会(有志・会費制)	
10月10日(木)	10:30～17:00	正副会長専務理事常務理事打合せ	日本代協 会議室	
10月11日(金)	9:30～10:45	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室 会場 とうふ屋うかい 芝	
	11:00～17:00 18:00～	第5回理事会 テーマ:通常議題 損保協会との懇談会(損保協会 主催) (正副会長と3理事)		
11月1日(金)	13:00～20:00	第9回日本代協コンベンション	グランドニッコー東京 台場	
11月2日(土)	10:00～12:00	第9回日本代協コンベンション分科会	損保会館、ホテルジュラク他	
12月9日(月)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室	
	13:00～17:00	第6回理事会 テーマ:通常議題		
12月10日(火)	11:00～17:00	第2回ブロック長懇談会	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F 食堂	
	17:00～18:00	セミナー		
	18:10～19:30	同上懇親会(有志・会費制)		
2月7日(金)	9:15～10:15	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室 会場 未定	
	10:30～12:00	財務委員会		
	13:00～17:30	第7回理事会 テーマ:事業計画案、他通常議題		
	18:00～	損保協会との懇談会(損保協会 主催) (正副会長と3理事)		
3月9日(月)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室 (懇親会 有志理事と議長候補者)	
	13:00～16:30	第8回理事会		
	16:30～17:00	正副会長と議長の打合せ		
3月10日(火)	10:00～12:00	臨時総会	損保会館 2F(大会議室)	
	13:00～18:00	政連通常代議員会・第2回全国会長懇談会	"	
	18:10～19:30	同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	会場 損保会館3F 食堂	
2020年度	5月8日(金)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室
		13:00～17:00	第3回理事会 テーマ:通常課題	
	6月15日(月)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室 正副会長と議長候補の懇親
		16:30～17:30	議長候補者と正副会長の総会進行打合せ	
	6月16日(火)	10:00～	来賓ご挨拶 / 通常総会	損保会館2F(大会議室) 確定
		11:30～12:00	新体制理事会(2019年度第2回理事会)	
13:00～14:00		政治連盟臨時代議員会		
14:00～17:00		第1回全国会長懇談会		
6月17日(水)	17:15～18:15	セミナー(予定)	損保会館 (3F)	
	18:30～19:30	同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)		
	9:30～16:00	新任会長オリエンテーション		日本代協会議室
	9:30～12:30	新体制理事打合せ	有楽町リファレンス205会議室	

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後4時38分閉会した。
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2019年7月12日

議長 会長 金子 智明 ⑩

議事録署名人 監事 杉本 恭三 ⑩

議事録署名人 監事 渡辺 眞一 ⑩

議事録署名人 監事 吉川 正幸 ⑩